

# かしはらし シルバー人材センター かわらばん

2024年1-2月号NO. 118-2

(公社) 檀原市シルバー人材センター 〒634-0075 檀原市小房町11番1号(かしはら万葉ホール東側)  
TEL0744-26-2560 FAX0744-26-2561

## <令和5年度上半期(4~9月)の業務事業報告>

	令和5年度9月累計	令和4年度9月累計	増	減	増減比
受託件数	4,006	4,013		-7	1.00
配分金	98,759,500	98,428,404	331,096		1.00
材料費	17,703,951	13,034,967	4,668,984		1.36
事務費	11,677,332	11,408,216	269,116		1.02
合計	128,140,783	122,871,587	5,269,196		1.04
公共	40,881,653	34,027,696	6,853,957		1.20
民間等	87,259,130	88,843,891	-1,584,761		0.98

令和5年度上半期(4~9月)の業務実績概報です。

新型コロナもインフルエンザと同じ5類に移行し、ウイズコロナの新しい日常生活が続く中で、運営に努めています。

本年度4月の会員数は505人(女性:176人・男性:329人)で平均年齢75.1歳(女性:73.3歳・男性76.1歳)でしたが9月末現在では会員数522人(女性:188人・男性:334人)で平均年齢は75.2歳(女性:73.4歳・男性:76.2歳)となっています。

70歳以上の会員数は437人で会員数の83.7%(前年同期:83.1%)となっており、センターでの高齢化が顕著に進んでいます。会員の最高年齢は、女性:88歳・男性90歳で、80歳以上の会員は111人(女性:22人・男性:89人)です。会員の高齢化が進み、それと共に身体の諸機能が低下してきますので、自らの健康管理と会員相互による安全就業に心がけて下さい。

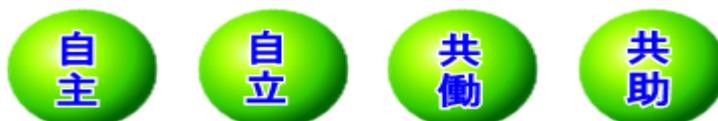
受託件数は前年度に比べ7件減少していますが、配分金で331千円微増しており、材料費では単価見直しを行い4,669千円、事務費で269千円増加しています。この主な要因は、公共事業で受注の年間を通じた作業の見直しなどが考えられますが、若干民間受注が低迷しています。今後は、コロナ禍以前の事業高を目指し精査する必要があります。

**配分金:** 会員さんが就業された対価(賃金的なもの)で発注者からの配分金支払額を全額翌月(例えば11月分は12月)に会員さんの銀行口座に振り込みます。

**注意:** 配分金は内税で消費税が含まれています。

会員は個人事業者の扱いです。現在は売上げが1000万円以下では免税事業者となります。

**事務費:** 配分金の12%を発注者が運営経費として負担されています。





## <令和5年度上半期(4~9月)の派遣事業報告>

	令和5年度9月累計	令和4年度9月累計	増	減	増 減 比
受注件数	36	30	6		1.20
賃 金	19,616,580	15,442,903	4,173,677		1.27
手数料等	4,943,446	3,987,447	955,999		1.24
派遣合計	24,560,026	19,430,350	5,129,676		1.26

受注件数が前年度より6件増加し、最低賃金の引上げなどの雇用環境の改善により、事業高が増加しています。

\* 派遣事業は発注者の指揮命令を受け、発注先の従業員と共に作業する事業で、労働契約(シルバー人材センターと雇用契約)が必要です。

**賃金:** 派遣の対価として会員に支払う報酬

**手数料等:** 派遣契約に基づく事務手数料(発注者負担)



## <令和6年(令和5年分)確定申告のお知らせ>

令和6年の確定申告の期間は、令和6年2月16日(金)から令和6年3月15日(金)です。

- ① 会員さんが受取る配分金は、所得税法上「雑所得」とされ、原則、確定申告をする必要があります。
- ② 配分金収入に対しては、55万円を上限として最低保証必要経費が認められています。
- ③ 公的年金等に係る確定申告不要制度

公的年金等の収入金額が400万円以下であり、かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下である場合には確定申告の必要はありません。

注1 医療費控除等を受ける場合には確定申告が必要です。

注2 公的年金等以外の所得金額が20万円以下で確定申告の必要がない場合であっても、住民税の申告が必要な場合があります。

『 確定申告の詳細は税務署にお問い合わせ下さい 』

## <令和6年 年始のご挨拶>

新年あけましておめでとうございます。会員の皆さんには健やかに新しい年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

新型コロナ対策も5類対応となったなかで新年を迎えましたが、高齢者事業を行うSCでは引き続きウイズコロナでの運営となり、SCを取り巻く環境は厳しいものがありますが、コロナ前の事業高を目指し持続可能な運営を基本に置きたいと考えています。令和6年(2024年)は干支では「甲辰(きのえ・たつ)」で成功という芽が成長していき、姿を整えていく年と考えられているようで、新しいことに挑戦する年でもあるようです。

センター運営も厳しい状況ではありますが、新規事業開拓・作業方法の改善に取り組み、安全就業の徹底を基本に会員拡大・就業拡大を日常的に取り組んでまいりますので、会員の皆さんの一層の共働とご支援ご協力をお願い致しまして新年のご挨拶といたします。

役職員一同

